

2019年度コラボミュージアム作品づくりコンテスト

小学校・中学校部門 アピールシート

令和2年 1月 17日

所属名 : 渋谷区立上原小学校

実践学年組: 6年 1組

氏名: 細田梨絵

教科	国語
実践期間	令和元年10月25日 ~ 令和元年11月19日
実践タイトル (35文字以内) 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう 『鳥獣戯画』を読む この絵、私はこう見る	
実践の目的 ◎絵と文章との関係を押さえて筆者の考え方を捉え、自分の考えを明確にしながら読むことができる。 ○文章を読んで考えたことを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	
実践のポイント・工夫 ・個人→グループ→学級→個人の学びのサイクルをコラボノートを使って、効果的に行ったこと。 ・絵と叙述を照らし合わせて読むことを、ICTを使うことで効率よく行ったこと。	
実践内容 (簡単に) ①初発の感想をコラボノートで共有する。 ②説明文の読解をグループごとにコラボノートのワークシートに記入し、学級全体で話し合って深める。 ③学習したことをもとに、鳥獣戯画のミニ解説文を書き、コラボノートで共有する。 ④自分が選んだ絵の解説文をコラボノートで書き、互いに鑑賞する。	
(コラボノートを) 使用してよかった点を教えてください。 ・グループで記入することで、協働的に読解を行うことができた。 ・絵の中に付箋で書きこむことで、視点を絞って解説文を書くことができた。 ・個の考えを教師や児童同士で把握することで、対話の内容が深まった。	
自由記述欄	

実践記録の概要（単元略案）

※コラボノートを活用した場面だけではなく、全体の学習の流れとコラボノートをどの場面でどのように活用したか記載してください。

全 1 1 時間

次	時	○学習活動	○指導上の留意点	評価規準  ICT活用
第一次	1・2	<ul style="list-style-type: none"> ①題名から考えたことを話し合う。 ②絵を見て気付いたことや感じたことをコラボノートに記入する。 ③全文を読み、筆者のものの見方や感じ方との共通点や相違点を中心に初発の感想を書く。 ④感想を学級で共有し、学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○題名から内容を想起し「見る」と「読む」の違いを考えさせる。 ○付箋機能の使用で学級全員の考えが分かるようにする。 ○初発の感想に書く視点を予め提示しておく。 ○感想は分類しておき焦点化して話し合うようにする。 	<p>【関】『鳥獣戯画』の絵に興味をもち、自分の感じ方と筆者の見方や感じ方を比べながら読み、感想を述べている。 (初発の感想)</p> <p> コラボノート・デジタル教科書</p>
第二次	3・4・5	<ul style="list-style-type: none"> ①叙述と絵を対応させながら読み、筆者が着目している部分と評価を表す言葉をコラボノートの表にまとめる。 ②筆者の表現や構成上の工夫を整理し、自分のミニ解説文（キャプション）に取り入れたい表現を見つける。 ③『鳥獣戯画』の3匹の蛙か、別の場面から自分が気になる部分を選び、画面を切り取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで1枚のワークシートに記入することで、協働して文章を読んでいくようにする。 ○絵をほめる言葉、想像したことや感じたことを表す文末表現、読者を惹きつける構成を学級で共有し、整理してまとめる。 ○鳥獣戯画の1場面の中から、自分が説明を書きたい部分を切り取り、画像をコラボノートに貼り付ける。 	<p>【読】叙述と絵を対応させて筆者の評価や表現の仕方を読み取り、考えをまとめている。(コラボノート・ノート)</p> <p>【言】文末表現や助詞の使い方を意識して読み、表現の工夫に気付いている。(ノート)</p> <p> コラボノート・デジタル教科書</p>
第三次	6・7	<ul style="list-style-type: none"> ①自分が切り取った絵から気付いたことを記入し、交流する。 ②付箋を基に、鳥獣戯画のキャプションを200字程度で書く。 ③友達の作品を読み、学習を振り返る。 ④次単元で学習したい絵を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵と説明文が対応して読めるようにする。 ○友達の表現の仕方や絵の読み方から学んだことを振り返る。 ○図書の時間と関連付け、自分の気に入った絵を選べるようにしておく。 	<p>【読】『鳥獣戯画』について読み取ったことをまとめ、友達と伝え合って自分の考えを広げている。 (キャプション・ノート・発言)</p> <p> コラボノート</p>

第四次	8 1 1	<p>①「この絵、私はこう見る」を読み、解説文の視点を学ぶ。</p> <p>②「言葉の宝箱」を見て、語彙を学ぶ。</p> <p>③モデル文やループリックを参考にして、解説文を書く。</p> <p>④互いの作品を読み合う。</p>	<p>○鳥獣戯画と関連付けて、絵によって様々な見方があることに気付かせる。</p> <p>○教科書のページとループリックをコラボノートに貼り付けておき、いつでも見られるようにしておく。</p> <p>○自分で絵を選べない児童には、コラボノートにいくつか絵を提示しておく。</p>	<p>【書】視点を明らかにして、読み手を惹きつけるような解説文を書いている。(コラボノート)</p>
-----	-------------	--	---	---

参考資料

佐賀県教育センター授業に役立つ実践研究

https://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/kenkyu-chosa_top.htm

1

渋谷区教育研究会国語部「この絵私はこう見る」モデル文